

平成19年度 イノベーション実用化助成事業
「大学発事業創出実用化研究開発事業」採択課題一覧(F/S) 10件

(別添4)

(申請者名順)

申請者名	助成事業の名称	実施大学等	実用化事業者	助成事業の概要
アソート株式会社	簡易な生体形状・硬さ計測システムの開発に関わる事前調査事業	和歌山大学	-	近年、あらゆる分野でウェアラブル機器の普及が著しい。快適な本機器の製作が求められている。和歌山大学で光三次元形状計測、超音波応用生体硬さ計測技術に関する研究が行われている。本技術シーズを適用して介護福祉／健康・スポーツ用具分野において機器使用者の身体形状及び硬さを簡便に計測し本計測データを基に身体部位の診断及び快適なウェアラブル機器形状を設計する支援システムの実用化開発につなげる事前調査を行う。
株式会社アプライド・マイクロシステム	コーナキューブリズムの再帰反射を利用した光双方向空間通信	大阪工業大学	-	コーナキューブの再帰反射特性を利用し、プリズムに入射する光を全反射制御して光源側へ情報を送信する光双方向空間通信システムの研究開発のための事前調査を行う。本通信方式の特徴は、①光源が一つでよい、②プリズムに当たった光は光源側に必ず戻る(このことを再帰反射という)方式であり、光源側からの通信方式の調査、プリズム側から光源側へのプリズムの再帰反射条件を全反射制御で可能とする方式の調査を行う。
有限会社大分TLO	競技の2次コンテンツの半自動生成、活用方法についての事前調査	大分大学	株式会社ザイナス	スポーツ競技の映像情報を解析、メタデータ化して、様々な観点から見ることを目的とした高速高解像度ビジュアルクラスタシステム(スポーツコンテンツスタジオ)を構築し、競技の2次コンテンツの半自動生成、活用方法について先行技術との比較を行なうと共に、シーズの優位性、市場の動向・規模、事業化の可能性を明確にする為の事前調査を行なう。
有限会社大分TLO	建築工事における光反応剤を用いた墨打器の実用化事前調査事業	大分大学	株式会社コイシ	建築工事の墨出しは、墨糸を緊張し計測ライン上に墨を打つが、手作業のマーキングポイントによる墨出しのため、長距離の場合は手間と僅かな誤差を生むことがある。そこで、可視光パルスレーザーの集光照射や光反応剤に関するシーズと位置精度に関する測量技術と現場ノウハウを基盤とし、レーザー光による反応だけで可視ラインを生成保存できる墨打器の開発に先立ち、シーズの優位性確認、市場動向・規模、事業性の調査等を行なう。
有限会社大分TLO	早期肺癌検出を可能にする新規肺癌診断支援システムの実用化調査	大分大学	株式会社ウィルウェイ	肺のレントゲン写真の経時変化を追いかけることなく肺がんの検出を高精度に可能とする新規な肺癌診断支援システム開発に先立ち、先行技術との比較を行なうと共に、シーズの優位性、市場の動向・規模、事業化の可能性を明確にする為の事前調査を行なう。
国立大学法人帯広畜産大学	簡易施設による永久凍土造成と冷熱エネルギー利用に関する調査	帯広畜産大学	株式会社アルゴス	農業地帯である十勝地方では、少雪寒冷な気候のため寒さを冷熱エネルギーとして蓄え、食料貯蔵庫への利用が試みられている。しかし、建設コストや維持管理の問題から普及に至っていない。本事業は、十勝・然別火山群の風穴に見られる地盤の凍結現象をヒントに、簡易施設を設けて冬期に凍土を効率的に築造し、夏期に凍土の冷熱エネルギーを利用して冷す完結型の施設の開発を目指し、本技術の優位性と市場性を調査するものである。
関西ティー・エル・オー株式会社	生物処理を中心とする工業廃水の浄化・希少金属回収技術の調査	立命館大学	株式会社佐々木化学薬品	循環型社会の確立へ向けて、重金属や石油系など様々な有害物質を含む工業廃水に関して、生物的処理を中心に、化学的処理、物理的処理を組み合わせた廃水処理技術および希少金属の回収・循環技術確立のための事前調査をおこなう。本処理技術は、高価な廃水処理施設等を整備することができない中小のメーカー向けに比較的低コストで提供することを目指す。
関西ティー・エル・オー株式会社	可視光応答型有機光触媒の実用化に向けた担持技術の事前調査	大阪大学	株式会社ユニワーク	可視光応答型有機光触媒は、従来の酸化チタン光触媒の応用が困難な紫外光のきわめて弱い室内光等を利用して、有機化合物の分解等を可能とするため、抗菌、消臭関連商品のニーズが高まっている。大阪大学で開発された可視光応答型光触媒は、単体における有効性は確認されている。本事業では可視光応答型光触媒を実用化につなげるため、繊維、樹脂、金属などへの有効な担持技術の事前調査を行う。
タマティーエルオー株式会社	地盤・岩盤・コンクリート構造崩壊の数値解析プログラム開発調査	法政大学	有限会社アドバンテクノロジー	地盤・岩盤やコンクリート構造物等の崩壊の予測と防止対策のための数値シミュレーション用ソフトウェアプログラムの開発を目的として離散化極限解析法を発展させた研究成果をシーズとし、その実用性の確認ならびにニーズの具現化さらに応用展開として中小企業向けの簡易汎用ソフトウェアのニーズ、事業展開での市場の調査をおこなう。調査は研究成果の既存パイロットプログラムの試用依頼の結果を中心に行う。
公立大学法人横浜市立大学	磁性体化合物を用いた抗がん剤の開発	横浜市立大学	バイオフィジクス株式会社	NEDO知的基盤形成事業の一環として横浜市立大学が助成を受けた事業から派生した実用化開発である。同事業において磁性を有する有機化合物のデータベース作成を手がけているが、本申請ではそのデータベースの中からがん治療に有用と思われるものを中心に医薬品として開発していく。とりわけ磁性抗がん剤としてドラッグ・デリバリーへの活用が期待でき、大学初ベンチャーであるバイオフィジクス(株)を実用化事業者として開発していく。